

開催報告

Euro Geo 4 (The 4th European Geosynthetics Conference) 開催報告

太陽工業(株) 原 健二
防衛大学校 平川 大貴

EuroGeo4(第4回ジオシンセティックス欧州会議)が、スコットランドの首都エジンバラにて、Heriot-Watt 大学内にあるエジンバラ会議場(写真-1)で、2008年9月7日~11日に開催された(写真-2)。EuroGeo4では以下の3つの基調講演と、24の平行セッションが行われた。

基調講演 1:

Electro-kinetic geosynthetics – from research and applications,
Prof. Colin JFP Jones (英国)

基調講演 2 (写真-3):

Long-term performance and lifetime prediction of geosynthetics,
Dr. Grace Hsuan (アメリカ合衆国)

基調講演 3:

Geoenvironmental applications of geosynthetics,
Dr. Nathalie Touze-Foltz (フランス共和国)

基調講演では、ジオシンセティックスと通電による軟弱地盤の改良工法との併用(基調講演 1)、ジオシンセティックスの長期耐久性について、主に英米での促進試験を用いた評価法の進展状況(基調講演 2)、ジオシンセティックスによる地盤環境への取り組み(基調講演 3)に関して、ジオシンセティックス技術の発展とともに実務への適用に対する様々な応用に関する講演であった。

平行セッションでは3つの会場で、ポスターセッションは会議開催中全日の3日間にわたって開催され、それぞれのセッションで活発な議論が行われていた。

会議2日目の9月8日の18:30から、Ennio Palmeira 教授(ブラジル連邦共和国)による Mercer Lecture が Tensar International 社の提供によって開催された。本会議は欧州会議であるものの意見交流や討議は国際的であり、また、産学官共同で会議の活発化を図っていたことが印象的であった。ジオシンセティックスの工学的利用や需要、その技術的発展はそれぞれの国土・地域特性に強く依存すると思われるが、国際的な意見交流や産学官の連携を強めることが有益であると感じられた。アジア以外の地域会議においても、今後、我が国からの参加者が増え、技術的知見に益するよう期待したい。

バンケットは、9月9日の夜に会議場からバスで約1時間移動し、スターリング城(写真-4)内の



写真-1 EuroGeo4 会場
(エジンバラ会議場)



写真-2 開会式(龍岡文夫 IGS 会長)



写真-3 基調講演(基調講演 2)

レストランで盛大に開催された。スターリング城は大変美しい古城で、そこから見渡される大自然の風景も壮大で美しく、催しではバックパイプ演奏や鷹狩ショー(写真-5)が行われ、参加者はバンケットを十分に楽しむことができたことと思う。



写真-4 スターリング城
(バンケット会場)



写真-5 鷹狩のショー
(バンケット催し)

最後に、IGS Award Ceremony が9月9日に開催され、日本支部の会員も表彰された。以下に紹介する。今後も、IGS の諸活動に日本支部からの一層の貢献を期待し、国際的に評価される会員が増加することを期待したい。

- コーポレートメンバー25周年表彰： 岡三リビック株式会社 様
- Young IGS Member Award 2008：
平川大貴博士(防衛大学校)、Warat Kongkitkul博士(元東京理科大学)
※ 本賞は「ジオシンセティックスのクリープ変形」に関する業績で受賞された。
※ Warat Kongkitkul博士は、現在、タイ王国の“King Mongkut's University of Technology Thonburi”
のご所属である。
- *Geosynthetics International Best Paper 2007*：
① Warat Kongkitkul博士(元東京理科大学)、龍岡文夫教授(東京理科大学)、平川大貴博士(防衛大学校)
Kongkitkul, W., Tatsuoka, F. and Hirakawa, D., 2007, Creep rupture curve for simultaneous creep deformation and degradation of geosynthetic reinforcement, *Geosynthetics International*, International Geosynthetics Society, Vol.14, No.4, pp.189-200.
② Warat Kongkitkul博士(元東京理科大学)、龍岡文夫教授(東京理科大学)
Kongkitkul, W. and Tatsuoka, F., 2007, A theoretical framework to analyses the behavior of polymer geosynthetic reinforcement in temperature-accelerated creep tests, *Geosynthetics International*, Vol.13, No.1, pp.23-38.
- *Geotextiles and Geomembranes Honorable Mention 2007*：
龍岡文夫教授(東京理科大学)、舘山勝博士(鉄道総合技術研究所)、毛利栄征博士(農村工学研究所)、松島健一氏(農村工学研究所)
Tatsuoka, F., Tateyama, M., Mohri, Y. and Matsushima, K., 2007, Remedial treatment of soil structures using geosynthetic-reinforcing technology, *Geotextiles and Geomembranes*, Vol.25, Nos. 4 & 5, pp.204-220.